

美術 I
高校生の美術1

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動の豊かな美的体験によって、生涯にわたり美術を愛好する心情を育て、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。 1 表現の活動では、主題生成の能力、創造的に構想する能力、表現しながらさらに構想を確かめ練り直す能力、材料や用具の特性を生かし創意工夫して表す技能などを育成する。 2 鑑賞の活動では、美術作品や文化財等に映し出された美や創造のすばらしさ、人々の生活や願いなどを感じ取るとともに、生活を心豊かにする美術の働きや美術文化を理解したりする能力などを育成する
----------------	--

教科書 ページ	題材	評価の3観点		
		知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C
p 6～9	身近なものを描く	「知」形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、身近なものの特徴や美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性を生かすとともに、線の強弱など表現方法を創意工夫して表している。	「発」身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」身近なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい身近なものの特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 10～11	植物を描く	「知」植物の形体や構造、質感、色彩などの性質や造形的な特徴、感情にもたらす効果などを基に、生命力などを全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」植物の美しさや特徴などを深く観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形体や構造、質感、色彩などを考え、創造的な構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」対象の植物などを見つめ、その美しさや生命感、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された植物などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 12～13	視点と表し方	「知」多視点による表現効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」多視点で表現された作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	「態鑑」美術や美術文化と豊かに関わり、多視点で表現された作品の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 14～17	私の見付けた風景	「知」風景の中の空間、形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」風景の中の色や形などを深く観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色彩、構図などの効果を考え、創造的な構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、風景画の見方や感じ方を深めている。	「態表」風景から感じ取ったよさや美しさ、不思議さや面白さなど、感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい風景の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 18～21	人物を描く	「知」構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」目的や意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」自己を見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」自己の内面を探り、感じ取ったことや考えたことなどを基にした人物画を描く表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい人物の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 22～23	光を捉える	「知」光や陰影の効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」光の効果によるよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」光や陰影を生かした絵画鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 24～25	想像を形に	「知」形や色彩、構図などの性質やそれらが感情にもたらす効果、具体物や抽象的なものの組み合わせなど造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」想像や空想したイメージや夢などから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、配置、組み合わせなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」空想や夢などを基に、心の中の世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい夢や空想の世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 26～31	日本美術	「知」金雲や空間の効果、構図、色彩などを基に、全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解している。	「鑑」屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさを感じ取り、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	「態鑑」屏風や掛軸、絵巻などのよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 32～37	浮世絵版画の魅力	「知」構図や色彩などの効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」浮世絵版画のよさや美しさ、美意識や創造性などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、日本の美術の歴史や表現の特質、美術文化について考え、見方や感じ方を深める。	「態鑑」美術や美術文化と豊かに関わり、浮世絵版画の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。

p 38～ 39	版で表す	「知」版による表現の効果や版画の技法や材料、用具の特性を理解し、意図に応じて創意工夫し、主題を追求して表すことを理解している。 「技」線や面などの版による表現の特性や効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」版画表現の特性を生かして主題を生成し、形体や構成、版の形式による効果などを考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」版の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫との関連などを考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」版の特性を生かして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」版による表現の特性と作者の意図と工夫との関連を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 40～ 41	墨表現の可能性	「知」墨の濃淡、にじみやかすれなどの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて墨や筆の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」対象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、想像などから主題を生成し、墨による表現の特性を生かし、形体や濃淡、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」墨による表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、水墨画の歴史や表現の特質、美術文化について考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」・「態鑑」墨による表現と鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 42～ 43	漫画の表現	「知」コマ割りや構図、効果線や擬声語などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。 「技」意図に応じて、ペンや筆などの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」主題に合わせた場面のイメージ、感情や動き、時間の表現などを基に、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」漫画表現のよさを生かして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 44～ 45	視覚のトリックを生かして	「知」視覚に関する錯覚の効果、質感や空間など造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて、モチーフと風景の関係を考えながら、位置や角度などを創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」錯視やイメージの重なりなどを基に、主題を生成し、形体や色彩、配置、組み合わせなど、不思議な世界をつくりだす表現の効果などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」錯視や不思議な世界の表現の効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」錯視やイメージの重なりなどを基に、不思議な世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい錯視や不思議な世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 46～ 52	大きさを意識して	「知」作品の大きさによる表現効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」作品の大きさから効果、よさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	「態鑑」作品の大きさから感じる効果を考え、鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 53～ 55	作家探究 レオナルド・ダ・ヴィンチ	「知」構図や表情、色彩の効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」レオナルドの作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、ルネサンスの表現の特質、美術文化について考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」美術や美術文化と豊かに関わり、レオナルドの作品の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 58～ 59	塑造で表す	「知」形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて、粘土などの材料の特性を生かし創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」塑造の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、塑造で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」塑造による表現の特性、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 60～ 61	彫って表す	「知」形や質感、量感、重心やバランス、動勢などの効果、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて、木や石などの材料の特性を生かし創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」彫造の特性を生かした作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、彫造で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、彫造による表現の特性、作者の表現の意図と工夫を考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 62～ 63	抽象彫刻で表す	「知」重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて、材料や用具の特性を生かして創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら主題を生成し、形や質感、量感、重心やバランス、動勢など造形的なよさや美しさを考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」抽象彫刻のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から考えたりした形を基に、立体で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、抽象彫刻による表現の特性、作者の表現意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。

p 64～ 65	身近な素材と立体表現	「知」重心やバランス、動勢などを生かして、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて、素材や材料、用具の特性を生かして創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	「発」素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、主体的に主題を生成し、形や色、質感、量感、重心やバランス、動勢など造形的なよさや美しさを考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」素材を生かした立体表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」身近にある素材を加工したり組み合わせたりして、立体で表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、身近な素材による表現の特性、作者の表現意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 66～ 67	祈りの形	「知」顔や手の表情、形や素材、空間などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、仏像彫刻の歴史や表現の特質、美術文化について考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」美術や美術文化と豊かに関わり、仏像彫刻の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 72～ 75	ポスターで伝える	「知」イラストや写真、文字の形や色、構成などが感情にもたらす効果や、伝達したいことや場面を、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて表現方法を工夫し、アクリルガッシュなどの技法や特性を生かし、計画的に見通しをもって表している。	「発」伝えたいメッセージや場面などを基に主題を生成し、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練っている。 「鑑」ポスターのよさや美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	「態表」伝えたいメッセージや場面などを効果的にポスターに表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」ポスターのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 76～ 77	サインのデザイン	「知」形や色彩の性質やそれらが感情にもたらす効果、伝達の意図や目的に求められる造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」伝達の意図や目的に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。	「発」伝達する内容や目的などから主題を生成し、見やすさや美しさの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」見やすさや美しさの調和を感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	「態表」伝達する内容や目的をマークやピクトグラムで表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」マークやピクトグラムのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 78～ 79	イラストレーションの魅力	「知」形体や色彩などの性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、配置や画材の工夫など造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて描画材などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表わしている。	「発」感じ取ったことや考えたことなどを基に、イラストレーションのよさや美しさ、伝えたい内容を表すための表現の工夫を考えて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、伝えるための創造的な表現の工夫を捉えるなどして見方や感じ方を深めている。	「態表」画材や表現方法などを工夫してイラストレーションで表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」イラストレーションによる表現の特性や作者の意図と工夫との関連を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 80～ 81	キャラクターのデザイン	「知」形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、キャラクターのポーズや持ち物など造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながらアクリルガッシュなどの特性を生かし、見通しを持って創造的に表している。	「発」情報を伝えるために、伝える相手や使われる場面などのイメージから主題を生成し、キャラクターの形や色彩、性格を表すポーズや持ち物などが感情にもたらす効果や伝達効果と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」キャラクターの伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	「態表」主題を生み出し、キャラクターの伝達効果などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しを持って表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」キャラクターの伝達効果や洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 82～ 83	生活を彩る模様	「知」形や色彩、構成の効果などが感情にもたらす効果や、用いる人や場面、目的や条件、機能や用途などを考え、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら形や色彩、構成の効果を生かし、見通しをもって創造的に表している。	「発」用いる人の心情や使用する場面などで求められる効果や機能などから主題を生成し、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」模様のもつ機能や用途を生かすための形や色彩、構成の特徴や美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」主題を生み出し、模様のもつ機能や用途などを考え、構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」模様のもつ目的や機能、美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫について考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 84～ 85	パッケージのデザイン	「知」形や色彩、質感などの性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら段ボールなど材料の特性を生かし、見通しをもって創造的に表している。	「発」目的や条件、中に入れるものや使われる場などのイメージから主題を生成し、形や色彩、質感などが感情にもたらす効果と美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」パッケージの使いやすさや洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	「態表」主題を生み出し、使いやすさなどを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」パッケージの使いやすさや洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。

p 86～ 87	暮らしの中の使う デザイン	「知」形や色彩の性質及びそれらが感情にもたらす効果や、使う人、場面、目的や条件、機能、用途など造形的な特徴を基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら紙粘土の特性を生かし、見通しをもって創造的にクレイモデルやモックアップに表している。	「発」使う人の心情や使用する場などで求められる機能などのイメージから主題を生成し、形や色彩など感情にもたらす効果や材料の性質や構造などと美しさとの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」機能や用途、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	「態表」主題を生み出し、材料の性質や構造などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」機能や用途、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 88～ 89	デザインとテクノロジー	「知」形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、構造、形体、素材などと求められる機能の関係や造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。	「鑑」使う人の立場や用いる場面、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」工業製品の機能や使いやすさ、安全性、人や社会との関わり、洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 90～ 91	作家探究 アント ニ・ガウディ	「知」形や色彩の性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、自然の形体を生かした有機的な造形や装飾の特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」自然の有機的な形体を生かしたガウディの建築やデザイン、装飾などのよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な表現の工夫の関連、人々の関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」美術や美術文化と豊かに関わり、ガウディの設計やデザインの特徴や効果に着目し、表現の意図や工夫、人々の関わりなどを読み取る鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 92～ 95	写真で表す	「知」写す角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じてカメラの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。	「発」感じ取ったことや考えたことなどを基に、写真表現の特性を生かして主題を生成し、構図や光、シャッター速度などの写真表現の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」写真表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」写真表現の特性を生かして表す、表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」写真表現の特性を生かした写真の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 96～ 97	アニメーションの手法	「知」画面の構成や時間の効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。	「発」感じ取ったことや考えたことなどを基に、アニメーションによる表現の特性を生かして主題を生成し、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」アニメーションによる表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」アニメーションの鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 98～ 99	映像で伝えるメッセージ	「知」画面の構成や時間などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。	「発」伝える目的や機能などを基に、動画による映像表現の特性を生かして主題を生成し、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの映像表現の効果と伝達の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」映像表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」動画による映像の表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」動画による映像の鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 100～ 101	映像に包まれて	「知」形や色彩、光、空間、動きなどの性質及びそれらが人の感情にもたらす効果や、映像作品の印象や特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。	「鑑」映像表現の特質や投影による表現効果などを感じ取り、作者の心情や表現の意図と機器の特性を生かした創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」映像表現の特質や投影による表現効果などを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。

美術Ⅱ 高校生の美術2

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動の豊かな美的体験により、生涯にわたり美術を愛好する心情を育て、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
	1 表現の活動では、主題生成の能力、創造的に構想する能力、表現しながらさらに構想を確かめ練り直す能力、材料や用具の特性を生かし創意工夫して表す技能などを育成する。 2 鑑賞の活動では、美術作品や文化財等に映し出された美や創造のすばらしさ、人々の生活や願いなどを感じ取るとともに、生活を心豊かにする美術の働きや美術文化を理解し、つくり出す能力などを育成する。

教科書 ページ	題材	評価の3観点		
		知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C
p 4～5	絵画の役割と写真の発明	「知」形や色彩、構図などの効果、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。	「鑑」作品の描かれた年代と主題などを基に、絵画の役割や発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」絵画の役割の変化と表現としての意義やよさなどを感じ取る鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 6～7	水による演出	「知」風景画に見られる水による効果や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。 「技」主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」風景から感じ取った印象などを基に、水による表現の効果などを考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」水のもたらす造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」水による表現の効果を生かして表す創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された水による表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 8～9	奥行きや空間を捉える	「知」風景に見られる大気や光、奥行きや空間などの効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」風景のイメージなどを基に、奥行きや空間などの効果を考えたことから主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」奥行きや空間を生かして風景画に表す創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された風景などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 10～11	ものの質感を生かして	「知」ものや場面から感じ取った質感や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。 「技」主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」ものや場面のイメージなどを基に、質感の効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」質感の表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」質感を生かして表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された質感の表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 12～13	人物のイメージや心情を捉える	「知」動きやしぐさ、表情、人と人との関係性、全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。 「技」主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」人物の性格や人柄、印象などを基に、動きやしぐさ、表情、色彩や構図などの効果を考えた主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」人物の性格や人柄などの表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」色彩や構図などを生かして、人物の性格や人柄などを表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された動きやしぐさ、表情、色彩や構図などの効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 14～15	テーマを追求する	「知」形や色彩、構図などの効果、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。	「鑑」絵の変化などから、作者の意図や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」構想の変化などを考えて鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 16～17	感覚の冒険	「知」ものや情景、音楽などから感じ取った感覚や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。 「技」主題に合った絵の具などの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」心で捉えたイメージなどを基に、単純化や強調、色彩などの効果を考えた主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」目には見えないイメージの形と色彩による表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」心で捉えたイメージを表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」対象を単純化したり、イメージする形や色を組み合わせたりすることの効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 18～19	線と明暗の表現	「知」線や明暗による表現の効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて鉛筆などの特性や効果を生かし表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」対象から感じ取った印象などを基に、線や明暗による表現の効果を考えたことから主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」線や明暗による表現の効果を考え、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された線や明暗による表現の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 20～21	錯覚による不思議な世界	「知」形や明暗、描く角度などが生み出す「錯視」の効果や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。 「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」「錯視」の効果のよさや面白さ、表現の工夫などについて考えた主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」「錯視」の効果のよさや面白さ、表現の工夫の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」「錯視」の効果を生かして明暗で表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作品に表された「錯視」の効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

p 22～28	琳派―継承と創造の系譜―	「知」単純化、大胆な構図、金銀の箔を背景に用いた表現などの効果、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。	「鑑」琳派の表現のよさや美しさ、表現の独自性、作者の意図と創造的な工夫などを感じ取り、美術文化の継承と創造などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」琳派の作品の表現のよさや美しさ、表現の独自性などを感じ取る鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 30～31	版の表現	「知」版画に見られる線や明暗、色彩などの特性や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。「技」版画の技法の特性や効果を生かした表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」感じ取ったことや考えたことなどから、版画の技法による表現の特性や効果を生かして主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。「鑑」版画技法のよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」版画の技法による表現の効果を考え、工夫して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」版画作品に表された線や明暗、色彩などの効果を感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 32～33	生物を空想して	「知」形や色彩の効果、既存の生き物や器物などの特徴やイメージを捉え、表現方法を創意工夫して表す。「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」空想の生物の能力や生息場所のイメージなどを基に、形や色彩の効果などを考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」空想の生物の能力や生息場所などのイメージを基に、形体や色彩などを考えて表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」空想によって表された新しい価値や意味などなどを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 34～35	作家探究 高村光太郎	「知」形や素材、重心やバランス、動勢などの効果を基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻の特質、美術文化の継承と創造について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」高村光太郎の作品のよさや美しさ、日本の近代彫刻などを鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 36～37	身近なもので生み出す	「知」ものの見立てや組み合わせなどが感情にもたらす効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」見立てや組み合わせなどによりつくりだされる新しい価値や意味などのイメージを生かして主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」ものの見立てや組み合わせにより新しい意味や価値をつくりだす創的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。「態鑑」ものの見立てや組み合わせなどによって表された新しい価値や意味などなどを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 38～39	石のもつ素材としての可能性	「知」石のもつ素材の特質が感情にもたらす効果、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	「鑑」表現素材としての石のよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」表現素材としての石のよさや美しさなどを鑑賞する創的な諸活動に、取り組もうとしている。
p 40～41	言葉を超えて「ヒロシマの心」を訴えるポスター	「知」それぞれの作品の色彩や構図などに着目し、全体のイメージや、効果的に伝えるための表現の工夫を捉えている。	「鑑」伝達の目的や条件などを基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」効果的に伝えるための表現の工夫や調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取るポスターの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 42～43	情報を伝えるデザイン	「知」形や色彩、文字などの工夫を基に、情報を伝えるためのデザインの効果を捉えることを理解している。「技」伝達の目的や条件などに合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」伝えたい情報の目的や対象、方法などを基に、場面に合わせた効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的なデザインの構想を練っている。「鑑」伝達の目的や条件などを基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」目的や条件などを基に、情報を伝えるデザインの創的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」情報を伝えるための方法や工夫を感じ取るデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 44～45	デザインがもたらす統一感	「知」統一感のあるデザインのための形や色彩、構成などの効果を捉えることを理解している。「技」イメージを効果的に伝えるための統一感のあるデザインの表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」統一感のあるデザインの効果や工夫について考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。「鑑」統一感のあるデザインの効果や工夫、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」イメージを効果的に伝えるために統一感を演出するデザインの創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。「態鑑」イメージを効果的に伝えるために統一感を演出するデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 46～47	行為を誘うデザイン	「知」デザインの形や色彩の効果などに着目し、使う人の行為や心情などを捉えることを理解している。	「鑑」使う人の目的や用途、場面、行為や心情などを考えたデザインの意図と工夫について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」使う人の行為や心情などを考えたデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 48～49	庭園のデザイン	「知」庭園を構成する形や色彩、光などの効果、その場の特徴などを基に全体のイメージや様式などで捉えることを理解している。	「鑑」庭園の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、心豊かな生き方の創造に関わる美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」生活や環境と庭園の関わりについて鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 50～51	感覚に訴えるデザイン	「知」既存の道具や製品などの操作で身に付けた感覚やイメージなどを基に、デザインの形や配置などの効果を捉えることを理解している。	「鑑」使う人の感性や感覚、経験などを基に、使いやすいさを考えたデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」使う人の感性や感覚、経験などを考えたデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

p 54～55	複数の写真で表す	「知」複数の写真の組み合わせによる効果や全体のイメージ、作風などで捉えることを理解している。 「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」複数の写真の組み合わせによる表現の効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」複数の写真で表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」複数の写真のそれぞれの意味や役割、組み合わせによる効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 56～57	アニメーションで伝える	「知」構図や動き、場面の変化などの効果や全体のイメージなどで捉えることを理解している。 「技」主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	「発」アニメーションの特性を生かした表現の工夫や効果を考えて主題を生成し、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考え、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」アニメーションの特性を生かして表現する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」作者の意図や表現の工夫、映像やアニメーションによる伝達表現の特性や効果などを見つめ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。
p 58～59	コンピュータを活用した表現	「知」形や色彩、動きなどの効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージなどで捉えることを理解している。	「鑑」科学的データ等を基にしたコンピュータによる映像表現の特性や表現効果などを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」科学的データ等を基にしたコンピュータによる映像表現を鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。